地連ホームページ　https://atutokyo.jp　メールアドレス　atutokyo@atutokyo.jp

今号は紙面の都合上、到着が遅れましたことをお詫び申し上げます。
編集部

自交総連東京

全国自動車交通労働組合総連合東京地方連合会機関紙

11/1
(2026年)
No. 1214

発行＝全国自動車交通労働組合総連合東京地方連合会(自交総連東京地連)
〒110-0003 東京都台東区根岸4-11-10
電話3871-4115(代表) FAX3871-4120
発行人＝林　悦夫
1部50円　郵送料別
(毎月1日の1回発行)
郵便振替口座　00110－2－66026番
購読料　前納制　1,500円
昭和51年11月5日第三種郵便物認可

全都労協 タクシー共同教育版

東北部ハイタク
共闘会議役員

●議長　髙橋　昭裕
日の丸自交労組

●副議長　東　薫風
大和自動車王子労組

●副議長　孫城　遼
宮城交通労組

●事務局長
坪倉　秀樹
帝都葛飾交通労組

●事務局次長
笹野　光昌
日本交通労組

●常任幹事
菅原　和久
省東自動車労組

それぞれの積極面を活かして運動強化へ

－東北部ブロック結成－



東部・北部ハイタク共闘会議、日本交通労組は10月31日、上野区民館で東北部ハイタク共闘会議結成総会を開催し、14組合27人(来賓含む)が参加しました**(写真上)**。

主催者を代表して髙橋議長は「組織合流という難題を乗り越えて結集できた。今までの活動での弱点を補い合うことで強く連帯し、自交総連の運動強化に奮闘しよう」とあいさつしました。

議案提案を坪倉事務局長が行い、役員選出の件では事前に仮承認していた名簿で提案され、続いて東北部ハイタク共闘会議運営規定の提案を行いました。

運動方針案では、組合・組合員数がブロック最大規模となった積極面を活かして①機関会議への参加。②統一行動の取り組み強化。③組織拡大、円滑な役員継承。④倒産、廃業、身売り対策。⑤東北部集団指導体制の拡充が提案されました。予算案では泊まり込み会議などに参加する組合への補助や、勤通大、初級教育講座の受講料などの運動面・学習面への積極的な参加を促す財政措置を確認しました。

全ての議題が採択され、最後は髙橋議長の団結がんばろうで新ブロックがスタートしました。

【記事・坪倉】



26年度の課題を議論(西部)

加盟組合の団結を一層強化して

西部

西部ハイタク共闘会議は10月29日、26年度総会を宮園労組会議室で開催し、7組合16人が参加。月村議長のあいさつ、東京地連徳永前委員長の基調講演の後、25年度の活動報告・決算報告が行われ、運賃改定問題への対応、安心・安全な輸送サービスの確保、乗務員不足の解消にむけた施策の推進や高齢化がすすむなか人材確保と育成の課題について議論が深められました。

続いて、会計監査報告が行われ、活動報告および決算報告は満場一致で承認。26年度運動方針では、自動運転など業界を取り巻く環境変化に対応しながら、利用者サービスと労働者の権利擁護を両立させる運動をすすめることが提起されました。質疑・討論では、各単組から現場の実態や課題が報告されました。

予算案や役員体制など、すべての議案が承認され、最後に、加盟組合の団結を一層強化し、すべてのハイタク労働者の生活と権利を守る運動を前進させることを確認し、月村議長の突き上げで盛会のうちに終了しました。

【記事・金子】



南部ハイタク新役員(上)と三多摩共闘会議総会(右)



くらしと権利公共交通の安全を守る

南部

南部ハイタク共闘会議は10月10日、第73回年次総会を南部労政会館で開催し、10組合25人(委任・来賓含む)が参加しました。

主催者あいさつで山本議長は「この1年間、ライドシェア全面解禁阻止にむけ街頭宣伝や行政への要請行動、賃金・労働条件の改善、組織拡大に取り組んできた。今後も、労働者のくらしと権利、公共交通の安全を守るため、団結を強め、さらなる前進をめざしてたたかおう」と呼びかけました。

東京南部法律事務所の永井弁護士の来賓あいさつの後、木俣事務局長から報告事項、各担当部長から専門部報告、25年度決算報告・会計監査報告、26年度の東京地連と南部ハイタクの運動方針案、予算案、総会宣言を提案し、すべての議案が採択され、最後に山本議長の団結がんばろうで終了しました。**【記事・中野】**

営業区域見直し利便性の向上を

三多摩

三多摩ハイタク共闘会議総会は10月5日、小田急南多摩営業所会議室で開催しました。

冒頭、庭議長は国交省への独自要請など今期の取り組みを振り返り、目的達成へむけてさらなる努力を訴えました。議事では25年度総括や26年度運動方針案などが提案され、方針案の提案で山下事務局長は「現在の営業区域のままでは利用者の利便性向上が図れない」と指摘。情勢に応じた見直しの必要性を訴え、次年度も障害者や福祉団体などと共闘して運動を前進させる決意を強調しました。

すべての議案を満場一致で承認。次年度の役員体制も継続することを確認し、参加者全員による「頑張ろう」の突き上げで盛会裏に終了しました。

【記事・林】